

# ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第7号 平成27年5月17日

光希・祐太朗も安定した投球を披露・・・

長短打で今期最多得点14点で勝利をゲット!

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
G	0	1	0	1	0	0			2
G	2	2	0	2	0	8			14



対戦成績を五部に戻せるか?借金生活が続くのか?重要な一戦を同じ区民大会に参戦していたグラスルーツとのオープン戦を岸根公園野球場に向き行った。結果は、前節同様相手のミスに長短打が重なり今期一番の大量得点で勝利を収めた。先発は今期2戦目となる光希がマウンドに上がる。その立ち上がり、カウント1-1からの3球目を右前に運び出塁とする。すかさず、次打者の時に、二盗を試みるも難なく捕手が制す。次打者はレフトに抜ける打球を打たれたが、野手が捕球位置にはいったものの、土手にあて、出塁を許したが、後続二人を光希が無難に斬り初回を0点発進とした。その裏の攻撃、2单打と四球で無死満塁の絶好のチャンス。しかし、4番の打球はショート正面、6-2-3の併打を予想したが、送球エラーで先ずは1点、5番の打球処理を投手がもたついている間に2点目、その後は適時打も無く2点のみで初回の攻撃を終える。翌2回、この回先頭の5番打者を空三振に斬るも、6番に中越2、7番にも中前に運ばれ、2本の安打の繋がりで1点差とされた。しかし、その裏、一死後先頭が失策による出塁、その後次打者のWPの間に二塁に進塁、結局この打者は凡打に倒れ二死となったが、今日3番に入った直樹が今日2個目の四球を選択し出塁、その後二盗を決め場面は二死二・三塁、ここで打席に4番祐太朗。2球目を強振すると打球は、左線に一直線、この2ベースで二者が生還しこの回も2点追加。翌4回の攻撃で投強安後の守備の乱れで1点を失点、しかし、その裏に智のあわや柵越えかと思われたレフトフェンス直撃の2ベース、祐太朗のテキサスヒットでこの回も2点追加、更には、最終回となった6回にも、打者13人、失策・四球に長短打が重なり大量8点を追加し、本日のゲームを勝利とした。これにより、対戦成績も五部という振り出しに戻し、次節以降の貯金体制に繋げる事が出来た。今日のゲームを振り返ると、序盤こそ、中途半端なバッティングが目立ったが、後半からは迷いの無い打撃が好結果に繋がったように見えた。投手においても無難にゲームを作った事は今後が非常に楽しみである。そんな中、守備において気になる点が・・・失策は4つを記録し、一つは内野安打すれすれの内容だが、他3つに関しては、もう少し大事にプレーしていれば、防げた失策に感じる。慌てた事によるもの、大事さを欠いてしまったもの、更には、カバーリングの後逸、内野カットへの正しくない送球による守備の乱れを記録した。この辺はアップの時から意識し、守備10割を目指すべきだろう。今日は打線に火が付き、少数失点は目に入らなかったが、僅差の場合は致命傷にもなりかねない。この辺はいつ何時でも全員が常に意識する事だと感じる・・・